



3. 懇話会（意見交換）

議会や委員会の報告・説明が終わった後、文京区の皆さんと懇話会に入った。懇話会を進行する座長は、平澤・長名両議員で、たくさんの意見や議会、町政に対する要望がありました。その主な内容は次のとおり。

質問1

議員報酬は長期入院してももらえると聞く。現在、他の自治体で日当制を導入しているところもあるが、この町で日当制を取り入れる考えはあるのか。また、年金目当ての議員が多いとも聞くが。

（回答）

町の条例では、自己都合や疾病、その他の理由で議員活動を休止したときは、休止期間の区分に応じ、減額支給することになっている。議員報酬や日当制については、今後、議員定数も含めて協議する予定。また、議員年金については、平成23年6月1日をもって廃止となった。この時点で12年を経過していない議員は、議員年金を受け取ることは出来ない。

質問2

降雨時には創造の森周辺からの出水がひどく、何度も農地が冠水する被害が起きている。農地が冠水しないよう排水計画を考えてほしい。

（回答）

創造の森については、農地冠水の頻度も踏まえ早急な改善が求められる。新年度の予算編成時期でもあり、即日、町側に要請を行なう。

質問3

空き地、空き家対策について、議会としてどのような取り組みを考えているのか。また、空き家を解体する場合、町内業者を優先的に利用し、町が解体費用の一部を助成するなどの措置はとれないか。

た、空き家を解体する場合、町内業者を優先的に利用し、町が解体費用の一部を助成するなどの措置はとれないか。

（回答）

空き家とはいえ建物には所有者がおり、勝手に第三者が解体するわけにはいかない。しかし、景観を損ねたり非行の温床になることも考えられる。今後、空き地、空き家の調査を継続して実施し危険性の高い物件については、美しいまちづくり条例第11条に基づき、所有者に対し勧告するよう町側に働きかける。また、解体費用への助成については、今後議会としても検討を重ねる。

質問4

医療費無料化が中学生まで拡大されたが、高校生まで引き上げない理由と所得制限を設けない理由は。

また、国保税の負担が高額所得者にしわ寄せになっており、生保・母子・高齢者世帯との間で不公平感が否めないが。

（回答）

高校生まで引き上げについては財政状況を勘案。所得制限を設けた場合、事務量が増大するリスクを伴う。国保税の設定については、国及び道の基準に基づいて行うこととなっている。

質問5

少子高齢化対策として子供に対してはある程度取り組みがなされているが、高齢者に対する福祉事業が少ないように感じる。以前は高齢者に対しグリーンパークの入浴券やバス券などが支給されていた。他の町ではバスやタクシー、他にも使えるような助成券制度を設けているところもある。議員はどのように考えているのか。

（回答）

高齢者福祉施策については、今後、総務民生常任委員会として調査する。他町の取り組み状況も把握し、不足があれば町側と協議する。



△区民の声にこたえる長谷川議長

意見として

議会の役割や議員としての仕事は概ね理解できた。今まで道議・町議を含め選挙が終わると会話が薄れ、町民との距離が遠くなっているように感じていた。しかし、今回の報告会では本町の議会として歴史的な試みでもあり開かれた議会として評価できる。願わくは議員は率先垂範に努めていただき、町の発展に貢献するリーダーとして活動してほしい。